

全国学力・学習状況調査より

7月に実施された、3年生対象の全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。この調査は、教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的としており、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために実施されています。本年度は「国語」「数学」の2教科と、「生活習慣や学校環境に関する調査」となっています。図1は、本年度の国語および数学の平均正答率を示しています。国語については、全国・県平均をやや下回っており、数学については、県平均を下まわっているものの、全国平均をやや上回りました。

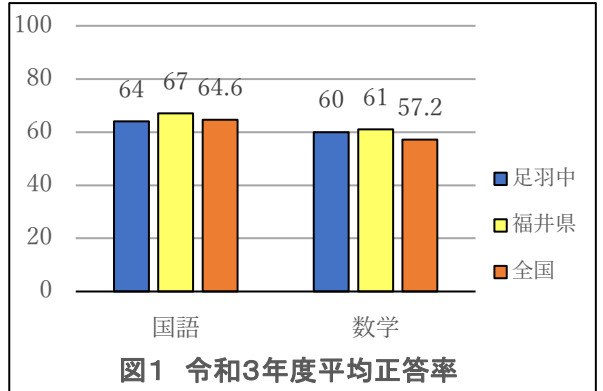


表2 問題別調査結果[国語]

		足羽中	福井県	全国	県平均との差	全国平均との差
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	55.5	60.7	56.0	▲ 5.2	▲ 0.5
	話す・聞く能力	78.4	83.5	79.8	▲ 5.1	▲ 1.4
	書く能力	59.8	60.8	57.1	▲ 1.0	2.7
	読む能力	51.0	50.1	48.5	0.9	2.5
	言語についての知識・理解・技能	70.9	76.7	75.1	▲ 5.8	▲ 4.2
問題形式	選択式	64.9	65.1	63.9	▲ 0.2	1.0
	短答式	72.7	76.6	74.4	▲ 3.9	▲ 1.7
	記述式	55.5	60.7	56.0	▲ 5.2	▲ 0.5

表2は、国語の評価の観点および問題形式について項目ごとに平均正答率を示したものです。「書く能力」「読む能力」については全国・県平均とはあまり差はなく、毎週金曜日に行っている視写に黙々と取り組む生徒の様子からもその力を感じ取ることができます。

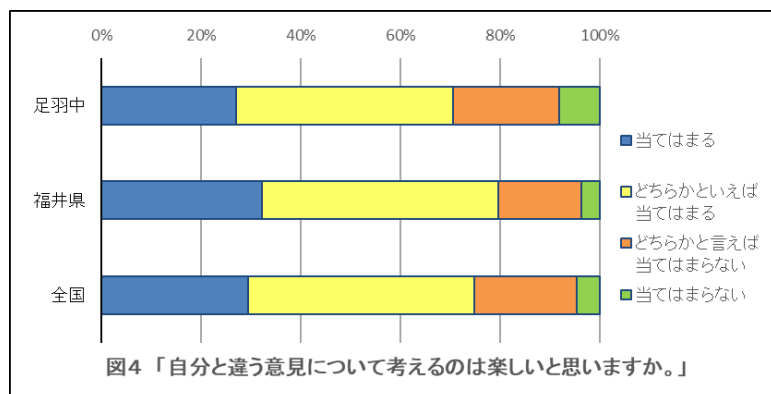
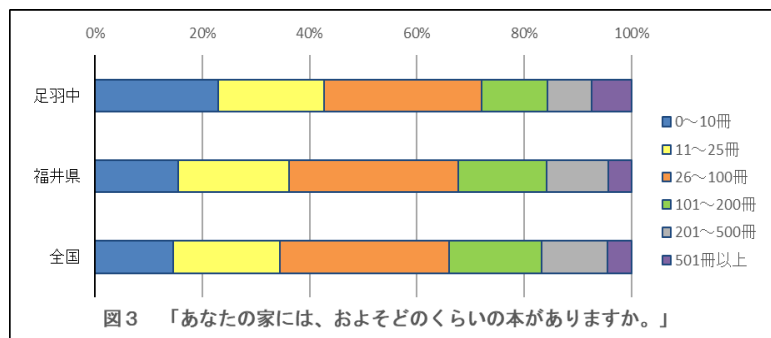
しかし、「関心・意欲・態度」が下回っているからか、「話す・聞く能力」「言語についての知識・理解・技能」が県平均を下回っています。

図3は、「あなたの家には、およそどのくらいの本がありますか」についての結果です。本の量と読書量を関連づけて考えるとすれば、読書による国語への興味・関心や言語の知識・技能向上が期待されます。

また、図4のように「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」との問いに対して当てはまる生徒が少なかったことから、現在本校が取り組んでいる対話的な学びの重要性がうかがえます。

感染症対策を行いつつ、グループ等による言語活動を通して、対話的な学びによる学力の向上に努めていきたいと考えています。

国語について、全国・県平均を下回る結果であ



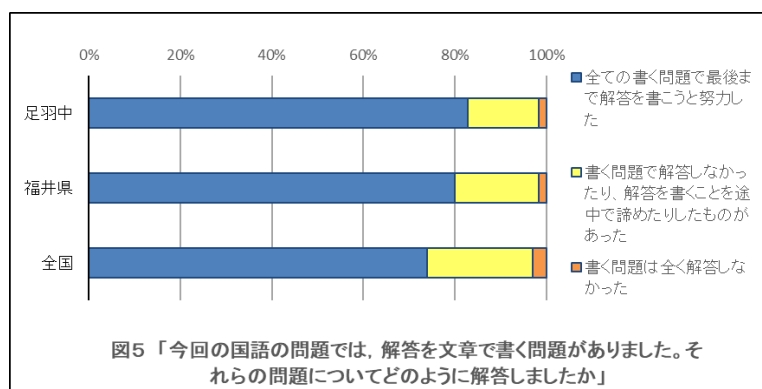
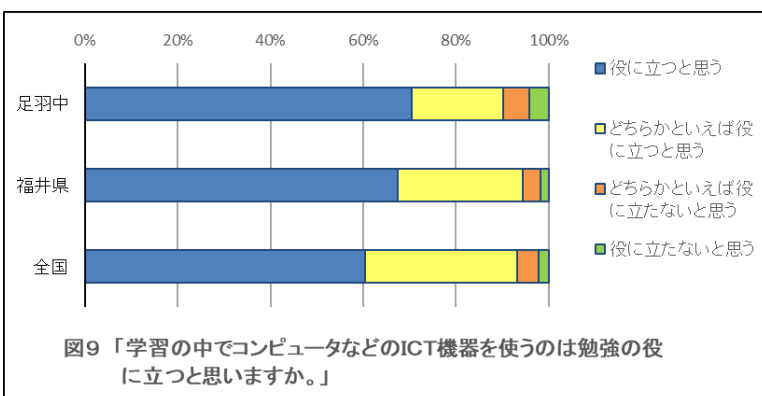
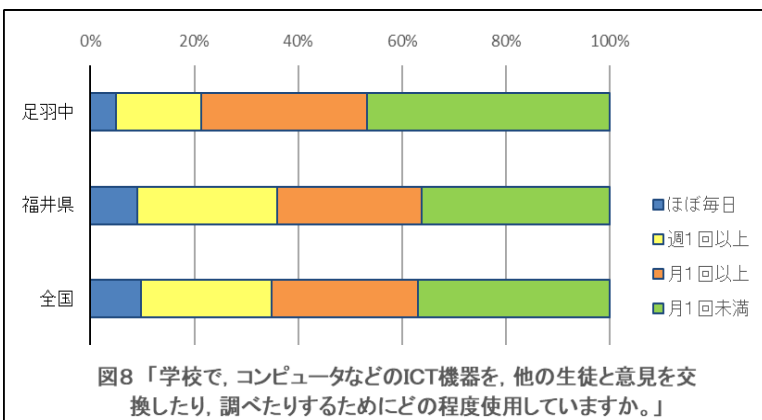
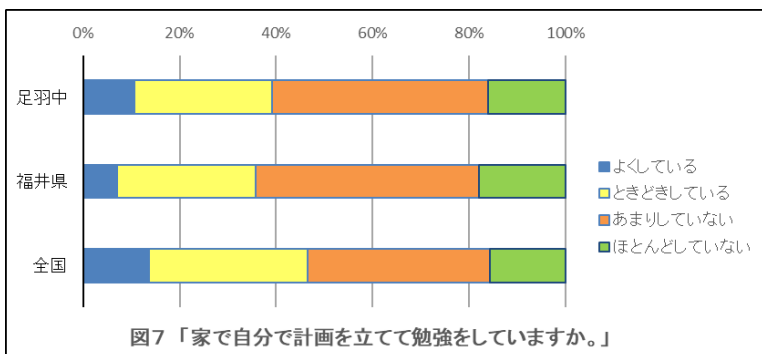


表6 問題別調査結果[数学]

		足羽中	福井県	全国	県平均との差	全国平均との差
評価の観点	数学的な見方や考え方	43.3	44.8	41.1	▲ 1.5	2.2
	数学的な技能	83.1	84.4	77.7	▲ 1.3	5.4
	数量や図形などについての知識・理解	67.3	68.9	65.6	▲ 1.6	1.7
問題形式	選択式	55.7	55.7	52.4	0.0	3.3
	短答式	73.7	74.8	70.5	▲ 1.1	3.2
	記述式	36.4	39.1	35.0	▲ 2.7	1.4



りましたが、図5のように、全ての問題について解答しようと最後まで諦めず努力する姿勢がうかがえる結果があります。本校は現在「自ら学び、高め合える生徒の育成」を主題として、授業研究を行っています。生徒の気持ちに応えられるよう、今後もの授業研究に取り組んでいきます。

表6は、数学の評価の観点および問題形式について項目ごとの平均正答率を示したものです。やや県平均を下回り、記述式の正答率が特に下回っていることがわかります。これは国語でも同様に見られ、国語の総合的な力が他教科に影響を与えることが考えられます。両教科について、小問ごとに見られた特徴については次ページで後述します。

その他、全国・県平均と比べ、特徴的な結果となったものについて見ていきたいと思います。図7「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」について、全国・県平均を下回る結果となりました。一昨年度と経年比較しても下回っており、本校生徒の課題として、計画性のある家庭学習をいかに多くしていくかが学力向上の鍵と言えます。また、図8「学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか」との調査に、全国・県平均を大きく下回る結果となりました。これまでもタブレットによる調べ学習等を行ってききましたが、まだまだ本校のICT環境は発展途上にあるといえます。今年度、GIGAスクール構想によるタブレット配備があり、現在、職員に対するICT研修を通じて、ICT活用を推進しています。図9「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の結果にみられるように、生徒からの期待に応えるべく、探究的な活動および対話的な学びのツールとして、タブレットの活用を進め、深い学びの推進に努めていきます。